

オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2003年10月14日

2003年10月12日現在：

10月12日に終わる週では、週後半に各地で降雨があり、ウイラメット盆地では、1～2インチの降雨量であった。北中央地区の小麦地帯にも多少の降雨があり、冬小麦の播種に良好な条件となった。気温はカスケード山脈の西側では平年を多少下回り、東側では略平年並みであった。北中央地区の最高気温は80度～85度F、最低気温は30～36度Fの範囲であった。1週間の州平均農作業稼働日数は6.4日（前週：7.0日）であった。

2004年産冬小麦の播種は、ウイラメット盆地では降雨に恵まれ順調に進捗した。北中央地区のSherman郡では気象がHot & DryからCool & Dryに変わり、例年より早いペースで播種が進み、出芽も例年より早い。Union郡の冬小麦の播種は順調に進捗し、出芽の状態はよい。但し、全地域で更に降雨を必要とする状態である。

土壌水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	30	52	14	0
Subsoil (%)	52	37	10	0

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 - yr Ave.
Winter wheat				
Seeded (%)	51	46	27	41
Emerged (%)	23	16	7	21

Source: Oregon Agricultural Statistics Services

2003年8月1日付けUSDA発表冬小麦生産量予想：

	Area Harvested 1,000 acres		Yield bushels/acre		Production 1,000 bushels	
	2002	2003	2002	2003	2002	2003
Winter W.	710	950	410	48.0	29,110	45,600

この作柄・気象レポートに関してのご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>